

南極：大陸・海・氷床を探る

高知大学海洋コア総合研究センター・国立極地研究所 合同公開シンポジウム

日時：2017年7月26日（水）13時00分～17時05分（予定）

会場：高知大学 朝倉キャンパス 共通教育棟 212番教室

主催：高知大学海洋コア総合研究センター・国立極地研究所

共催：科学研究費補助金・新学術領域研究「熱-水-物質の巨大リザーバ：
全球環境変動を駆動する南大洋・南極氷床」

【プログラム】

13:00-13:05	5分	脇口 宏 高知大学長	開会挨拶
13:05-13:10	5分	池原 実（高知大学）	趣旨説明

①南極の大陸を探る

13:10-13:35	25分	野木 義史（極地研）	南極海と Gondwana 分裂
13:35-14:00	25分	外田 智千（極地研）	南極大陸の太古代-原生代の基盤地質
14:00-14:25	25分	石塚 英男（高知大学）	インド洋コンラッドライズに残された超大陸由来の変成岩と花崗岩
14:25-14:50	25分	奥野 淳一（極地研）	多様な海面変化を引き起こす固体地球

14:50-15:20 30分 <休憩・展示説明>

②南極の海と氷床を探る

15:20-15:45	25分	田村 岳史（極地研）	気候変動の鍵を握る南極の海と氷
15:45-16:10	25分	川村賢二（極地研）	3000mのタイムカプセル： 南極の氷から分かる過去の気候変動
16:10-16:35	25分	池原 実（高知大学）	南大洋が駆動する大気CO ₂ 濃度変動： 海洋コアから探る第四紀の気候変動
16:35-17:00	25分	菅沼 悠介（極地研）	地球温暖化で南極の氷は融けるのか？： 極限フィールドワークから探る南極氷床の安定性
17:00-17:05	5分	白石 和行 国立極地研究所長	閉会挨拶

【問い合わせ先】池原 実（高知大学海洋コア総合研究センター；ikehara@kochi-u.ac.jp, 088-864-6719）